

令和6年度 高等学校等給付奨学生申請者 調査書

令和 6年 5月20日

記入例

公益財団法人日本教育公務員弘済会 島根支部長 様

記入日

以下の記載事項に相違ありません。

奨学生申請者(生徒)	氏名 (自署) <b>教弘 太郎</b> (教)	学校・学年	出雲東高等学校定時制課程・第2学年				
	現住所 〒 <b>7</b> 氏名はそれぞれ本人が自書 <b>市大社町平田12-34</b>	生年月日	平成 <b>19</b> 年 <b>4</b> 月 <b>15</b> 日				
親権者	氏名 (自署) <b>教弘 花子</b> (教)	勤務先	AJきょうこう出雲支店				
	現住所 〒 <b>699-1234</b> 出雲市大社町平田12-34	電話番号	<b>0853</b>				
同一生計家族 (aとbの人数の計 <b>7</b> 人)					世帯人員による収入基準額 <b>A</b>		
就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	★所得の種類	収入・所得金額等 (万円未満は切捨て) 給与収入 年金等収入 その他所得	所得	
	a 母	教弘 花子	45	給与収入・年金等収入・その他の所得	<b>199</b>		
	祖父	教弘 稲男	72	給与収入 年金等収入 その他の所得	<b>60</b>	<b>3</b>	
	祖母	教弘 草枝	70	給与収入 年金等収入 その他の所得	<b>42</b>		
	姉	教弘 朝顔	18	給与収入・年金等収入・その他の所得			
	弟	教弘 光	5	給与収入・年金等収入・その他の所得			
	a 就学者を除く家族の人数 ( <b>5</b> 人 )					所得額 <b>3</b>	
就学者	続柄	氏名	年齢	★設置者	★就学先	★通学状況	就学者控除
	b 本人	教弘 太郎	17	国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
	妹	教弘 未来	11	国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
				国公立・私立	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学・大学院	自宅・自宅外	
b 就学者の人数 ( <b>2</b> 人 )					就学者控除 <b>C</b>		
家庭事情	*ア～オで該当する場合は□内にチェック					特別控除	
	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 母子・父子世帯					
	<input checked="" type="checkbox"/>	イ 障がいのある人がいる世帯 人数 ( <b>1</b> 人 ) 続柄 ( <b>妹</b> )					
	<input type="checkbox"/>	ウ 長期療養者 (6月以上の療養) がいる世帯 人数 ( ) 続柄 ( )					
	<input type="checkbox"/>	エ 主たる家計支持者が別居している世帯 続柄 ( )					
<input type="checkbox"/>	オ 火災・風水害等の被害を一昨年の12月31日現在で発生している世帯						
カ 奨学金給付を必要とする家庭事情等を記入して下さい					D		
私が、小学生の時に父が死亡したため、母子家庭である。 収入は母の給与収入以外は祖父母の年金と祖父のわずかな農業収入のみである。 姉は各種学校に通学している。 また、妹は障がいがあり母が毎日学校へ送り迎えをしている。							
控除計 C+D=E	認定所得金額 B-E=F		F/A(%)				

網掛け部分は記入しない

・収入等の記入については「記入上の注意」をよく読むこと  
・専修学校一般課程、各種学校(予備校等)在籍者はa欄(就学者を除く家族)に記入

特別支援学校・義務教育学校在籍者は就学先の記載について「記入上の注意を」をよく読むこと

イ～オは証明書類の添付が必要

◎この調査書に記載されている個人情報、奨学金業務のためにのみ利用し、その他の目的に使用することはありません。

【注意】虚偽の記載がある場合は、給付を取り消します。